

公営住宅の実態把握

空き戸数125戸 入居率78%



▲空室が多い公営住宅の有効活用は待ったなし！

家賃収入減で維持費増

近年、全国各地で公営住宅の老朽化や新たな入居者の減少による空室増加が目立ち、和寒町でも大きな課題となっています。本町の公営住宅の状況（令和7年9月末現在）は、管理戸数370戸、入居戸数244戸、空き戸数のうち募集停止が58戸、募集中が68戸です。



▲旧三和牧場では植林の状況を調査

10月9日、公営住宅等の空室実態調査のため、ジユネスハウスII、かたくり荘、あかしや団地、ふれ愛の里、もみじ団地を視察しました。
今後、他の自治体等による公営住宅空室の状況などを調査し、本町の財産である公営住宅を有効活用できるよう研究します。
国有地にある旧三和牧場の植林状況、若草4条通りバリアフリー化、若草団地解体、大通りの歩道舗装改修も確認しました。

温暖化により新たな害虫発生が

農作物生育状況調査



▲農業委員会、町関係者、JA等と調査

8月21日、町内農作物の生育調査を行いました。
今年は大雨による農作物の被害は少ないですが、温暖化の影響か、今まで北海道にいなかった虫が発生し、カメムシなどの食害もあるようです。
今年も五穀豊穡の秋となりますよう祈願します。

議会の課題を活発に意見交換

愛別町議会 視察調査



▲今後も他の議会と意見交換などを重ねます

8月7日、愛別町議会議会改革等特別委員会が来町され、本町議会の議会改革・活性化の取り組みについて視察を受けました。
議員のなり手不足、議員報酬、議員定数、議会広報、タブレット導入など多岐にわたり、活発な意見交換をしました。